

# 2021年度 中間期 株主通信

BUSINESS REPORT 2021

2021年1月1日～2021年6月30日

すべての革新は患者さんのために

中外製薬株式会社 証券コード：4519

## 【株主様アンケートの実施について】



株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の株主様とのコミュニケーション活動の参考とさせていただきます。WEBアンケートを実施いたしますので、ご協力をお願い申し上げます。お手元に届きました「株主通信」にご案内がございます。ご参加をお待ちしております。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療関係者の皆様、様々な場所で社会を支えてくださっている方々に深く感謝申し上げます。

ここに2021年度中間期(2021年1月1日から2021年6月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年8月

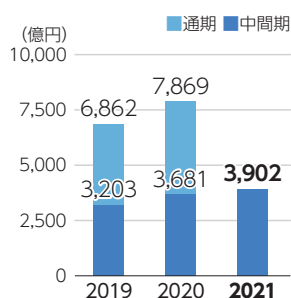
代表取締役社長 最高経営責任者

奥田 修

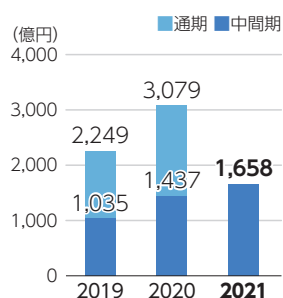


## Core実績連結財務ハイライト(2021年1月1日～2021年6月30日)

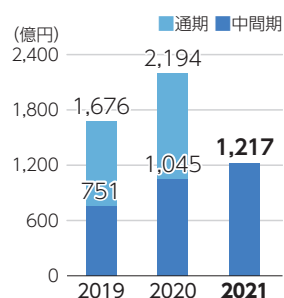
売上収益 3,902億円  
(前年同期比 6.0%増) ▲



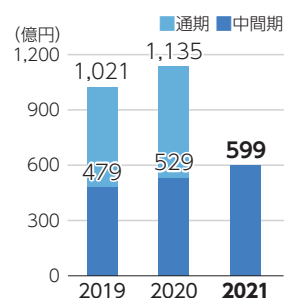
営業利益 1,658億円  
(前年同期比 15.4%増) ▲



四半期利益 1,217億円  
(前年同期比 16.5%増) ▲



研究開発費 599億円  
(前年同期比 13.2%増) ▲



▶ より詳細な業績の情報は、当社のIRサイト <https://www.chugai-pharm.co.jp/ir> をご覧ください。

中外製薬 IR

検索

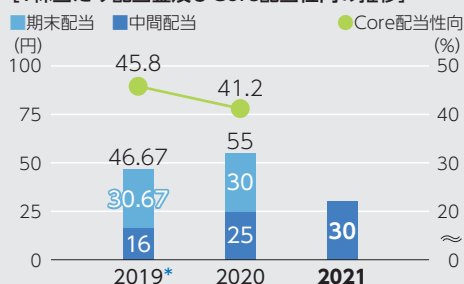
## 2021年12月期中間配当について

戦略的な投資資金需要や業績見通しを勘案したうえで、Core EPS 対比平均して45%の配当性向を目処に、株主の皆様へ安定的な配当を行うことを目標といたします。中間配当につきましては次のとおり実施させていただきます。

中間配当金

1株につき30円

## 【1株当たり配当金及びCore配当性向の推移】



\* 当社は、2020年7月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行っております。配当金につきましては、2019年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定した金額であります。

# 世界最高水準の創薬の実現に向けて改革を実行

## 「ヘムライブラ」のロイヤルティ等収入が増加し 売上収益・営業利益とも中間期の過去最高を更新

2021年度中間期は、製商品売上高が前年同期並みで推移し、ロイヤルティ等収入及びその他の営業収入が大幅に増加しました。ロイヤルティの増加は、輸出された「ヘムライブラ」を中心とした自社品の海外売上伸長に伴うもので、そのまま利益の増加に反映されます。結果として連結業績（**Core実績**<sup>※1</sup>、以下同）は、売上収益3,902億円（前年同期比6.0%増）、営業利益1,658億円（同15.4%増）、四半期利益1,217億円（同16.5%増）と増収・増益を遂げ、中間期の過去最高業績を更新しました。

国内製商品売上高は、昨年及び本年4月の薬価改定と後発品の浸透による影響を受け、2,034億円（同0.6%減）となりました。**オンコロジー領域**<sup>※2</sup>は、「ハーセプチン」「リツキシサン」が後発品の影響により売上が減少したものの、昨年9月に適応拡大した「テセントリク」の市場浸透が順調に進み、「カドサイラ」も堅調に推移したことから、売上が増加しました。**プライマリー領域**<sup>※3</sup>は、昨年8月に発売した「エンスプリング」が順調に市場浸透し、「ヘムライブラ」も堅調を維持しましたが、「エディロール」が後発品の影響を大きく受け、売上が減少しました。

海外製商品売上高は、1,007億円（同0.3%減）となりました。「ヘムライブラ」「アレセンサ」のロシュ向け輸出が大幅に増加した一方、前年同期において新型コロナウイルス感染症関連の需要が拡大した「アクテムラ」の輸出が前年比で減少しました。

ロイヤルティ等収入及びその他の営業収入は、「ヘムライブラ」に関するロイヤルティ及びプロフィットシェア収入の増加などにより、861億円（同37.8%増）に大きく拡大しました。

代表取締役社長  
最高経営責任者  
奥田 修

## 抗体カクテル療法「ロナプリーブ」が特例承認取得 重症化の抑制と医療体制の逼迫回避への貢献に期待

当社は現在、新型コロナウイルス感染症の治療薬として、「アクテムラ」「ロナプリーブ」「AT-527」の三つを開発しています（→4ページをご参照ください）。このうち抗体カクテル療法「ロナプリーブ」について、本年7月19日付で厚生労働省より特例承認として世界で初めての製造販売承認を取得しました。「ロナプリーブ」の供給は、日本政府との合意に基づき2021年分が確保されています。速やかな供給に向けて、引き続き政府ならびに関連事業者と緊密に協働してまいります。

前述の通り、上期業績の好調な推移に加え、期初の予想に含まれていない「ロナプリーブ」の政府購入や「アクテムラ」のロシュ向け輸出の増加が下期に上振れ要因となることから、当期の通期業績は、5期連続の増収・増益を見込んでいます。

2030年におけるトッピノバーター像の実現に向けて当期から始動した新成長戦略「TOP I 2030」では、「R&Dのアウトプット倍増」と、これによる「自社グローバル品の毎年上市」を目指しています。当社の中長期的な成長牽引を期待して、世界トップレベルの「バイオ」と「低分子」に加わる新たなモダリティ「中分子」の早期実用化に注力しています。

自社グローバル品の毎年上市実現に向けて、製造設備投資として過去最大の555億円を投じ、2025年3月の稼働を予定し藤枝工場（静岡県藤枝市）内に低・中分子合成原薬製造棟（FJ3）を建設することを決定しました。FJ3は、後期開発用の原薬供給から初期商用生産までを担います。既存設備および2019年から建設中の初期開発用の原薬供給を担うFJ2と合わせ、初期臨床開発から初期商用生産に至る安定的な原薬供給体制を同工場内に確立します。また、革新的新薬を創出する中核研究拠点として、神奈川県横浜市に建設を進めている「中外ライフサイエンスパーク横浜」は、コロナ禍の影響で工事を一時中断したものの、2023年4月の稼働を目指し工事を再開しています。

当社は、これらの「世界最高水準の創薬の実現」に向けた体制づくりと並行し、デジタルを核とした患者さんへの価値・製品価値の飛躍的向上をはじめとする「先進的事業モデル」の構築を進めることで、トッピノバーター像実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社事業のさらなる発展と医療への貢献にご期待いただき、これからも長きにわたるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ✓ 用語解説

※1 **Core実績** …当社事業の核（コア）である医薬品事業から発生する経常的な収益性を管理するための指標。IFRS（国際会計基準）実績から、当社が非経常的と捉える事象に係る損益等を除いたもの。

※2 **オンコロジー領域** …がん領域

※3 **プライマリー領域** …がん以外の領域

## 再発または難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫治療薬 「ポライビー点滴静注用」発売

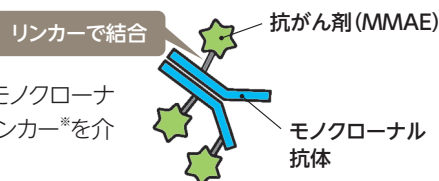
5月、「再発または難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL: diffuse large B-cell lymphoma)」を効能または効果として、抗悪性腫瘍剤／微小管阻害薬結合抗CD79bモノクローナル抗体「ポライビー点滴静注用」[一般名: ポラツズマブ ベドチン(遺伝子組換え)] が薬価収載され、販売を開始いたしました。

DLBCLは、再発または難治性となった場合の治療選択肢が限られているアンメットメディカルニーズが高い疾患です。ファーストインクラスの抗CD79b抗体薬物複合体である「ポライビー」により、患者さんの希望に合わせたより良い治療の実現に貢献できるよう、適正使用に向けた情報提供に努めてまいります。



### ポライビーの構造 (イメージ図)

ポライビーは、B細胞表面に出ているCD79bというたんぱく質を標的とした分子標的薬(抗CD79bモノクローナル抗体)と、抗がん剤(MMAE)がリンカー\*を介して結合した薬です。



※ リンカー: 抗体と抗がん剤をつなぐ部分を言い、血液中では抗体と抗がん剤の結合を保ち、病巣部では抗がん剤を放出する役割を担っています。

### ポライビーががんに作用するしくみ (イメージ図)



## 「エブリスディ」脊髄性筋萎縮症に対し承認を取得

6月、脊髄性筋萎縮症治療剤「エブリスディドライシロップ」(一般名: リスジプラム)について、「脊髄性筋萎縮症」を効能または効果として製造販売承認を取得しました(2019年3月希少疾病用医薬品に指定、2020年10月承認申請)。

脊髄の運動神経細胞の変性によって筋萎縮や筋力低下を示す脊髄性筋萎縮症は、乳幼児では最も頻度の高い致死的な遺伝性疾患です。これに対し同剤は、乳児から成人にわたり有効性を示した初の経口薬として在宅での治療を可能とします。患者さんの投与負担軽減が期待される同剤を、新たな治療選択肢として一日も早くお届けできるよう、発売に向けた準備を進め、8月に販売を開始いたしました。



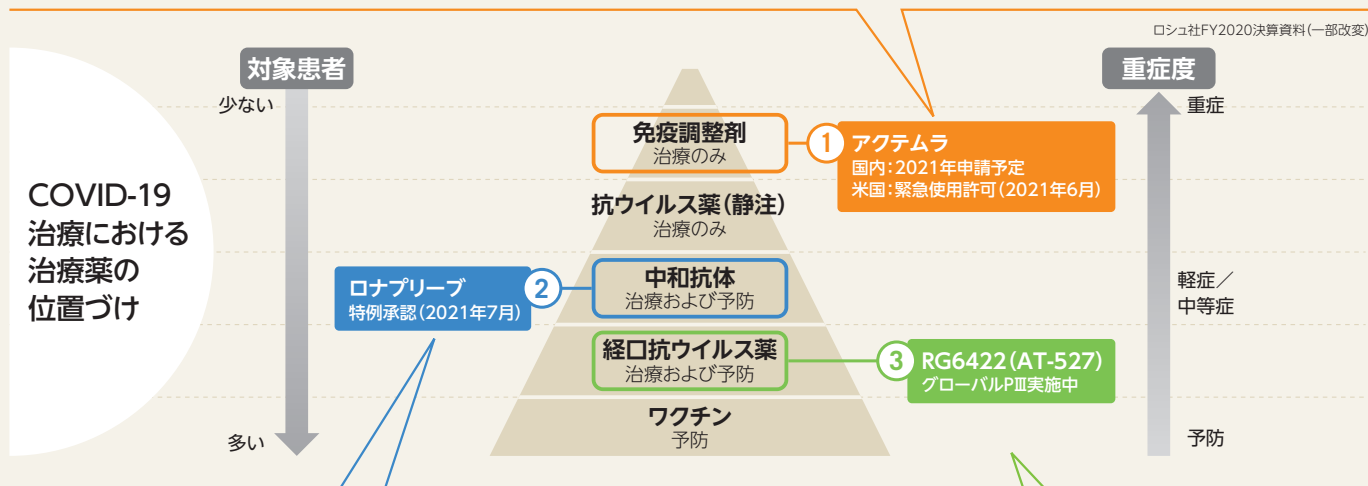


# COVID-19に関する取り組み

## ①「アクテムラ」、成人および小児のCOVID-19による入院患者に対し米国FDAより緊急使用許可を取得

ロシュ社は6月25日、米国食品医薬品局 (Food and Drug Administration : FDA) より、コルチコステロイドの全身投与を受けており、酸素補給、非侵襲的もしくは侵襲的な人工呼吸、またはECMOを必要とする入院中の成人および小児(2歳以上)のCOVID-19治療薬として、「アクテムラ」(一般名: トシリズマブ) 静注製剤に対し緊急使用許可を取得したことを発表しました。また「アクテムラ」は、酸素補給または呼吸補助を必要とするコルチコステロイド投与中の患者の転帰を改善する可能性があることが示唆されています。

出典: Peter W Horby et al. Tocilizumab in patients admitted to hospital with COVID-19 (RECOVERY): a randomised, controlled, open-label, platform trial. Lancet 2021; 397: 1637-45



## ② 抗体カクテル療法「ロナプリーブ」が、特例承認を取得

抗SARS-CoV-2モノクローナル抗体「ロナプリーブ」[一般名: カシリビマブ(遺伝子組換え)/イムデビマブ(遺伝子組換え)]について、COVID-19に対し、厚生労働省より特例承認を取得しました。「ロナプリーブ」は、2種類のモノクローナル抗体のカクテルであり、COVID-19重症化リスク因子を持つ外来患者さんの入院・死亡リスクを低下させるとともに、重症化の抑制と症状消失までの期間短縮が臨床試験において示されています。また、デルタ株をはじめとする複数の変異株に効果があることが非臨床試験で確認されています。国内における「ロナプリーブ」の供給は、日本政府との合意に基づき、2021年分が確保されています。速やかな供給に向け、引き続き日本政府とともに協働してまいります。

出典:  
・COV-2067試験有効性結果(2021年7月承認、CTD2.5.4.2)  
・Antiviral Resistance (Section 15) (2021年6月改訂版、FDA FACT SHEET FOR HEALTH CARE PROVIDERS EUA OF REGEN-COV™ (casirivimab and imdevimab))  
・REGN10933及びREGN10987のスパイクタンパク質に対する中和試験(2021年7月承認、CTD4.2.1.1-5)

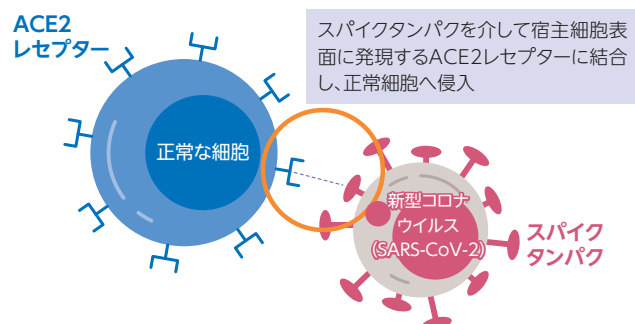
## ③ 経口新薬候補品の導入

ロシュ社より導入した経口の抗ウイルス剤AT-527については、軽症から中等症COVID-19治療薬として第Ⅲ相グローバル臨床試験に国内から参加し、開発を進めています。当社は日本での独占的開発権および販売権をロシュ社より取得しています。

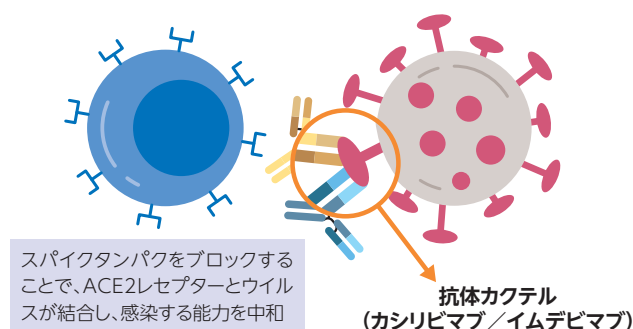
### 抗体カクテル療法とは

抗体カクテル療法とは、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の重要な領域であるスパイクタンパクを標的とする、競合しない2つの中和抗体(カシリビマブおよびイムデビマブ)を組み合わせたものです。ウイルスが抗体カクテルから逃れるためには、複数箇所ですべて連続的かつ複数回にわたる遺伝子変異が必要であり、その実現性は低いといわれています。

#### 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の結合メカニズム



#### 抗体カクテルの作用



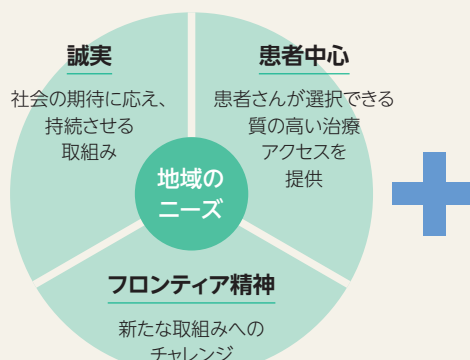
リジェネロン社のIRコール資料  
(2020年11月6日発表、一部改変)

# グローバルヘルスへの取り組み

## グローバルヘルスに関する 基本的な考え方

世界には、まだ治療法がない疾患に苦しむ人々や治療法があるにもかかわらず、貧困あるいは制度上の理由などで必要な医療を受けられない人々があります。当社は、SDGsの「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」を最重要目標として掲げており、この目標達成のため、グローバルヘルスの社会的課題である保健医療へのアクセス向上に向けて、新薬を創製・供給する事業活動、ならびに公的機関やNGO、業界団体等との協力活動などに積極的に取り組み、企業価値の創出と社会的課題解決への貢献の両立を目指しています。

## 取り組みの基軸



## 当社の強み

- 独自のサイエンス力と技術力
- ロシュ社との戦略的アライアンス
- 革新的医薬品の継続提供
- 次世代個別化医療の牽引
- 患者中心の高度なソリューション
- デジタル技術による革新 (DX銘柄2021に選定)

## 目指す効果

### 「患者中心の持続可能な医療の実現」加速

#### 【地域の医療にとって】

- 地域のニーズに即した持続的な保健医療アクセスが改善
- 医療関係者／行政等能力向上
- 住民への疾患啓発・意識向上

#### 【当社にとって】

- WHOなどの国連機関、行政、医療関係者を含めた様々なステークホルダーへの発信
- 世界全体の医療ニーズから多様な学びを蓄積
- 社員の「世界の患者さんへの貢献」に対するモチベーション

## 社会的課題解決への貢献と企業価値創出の両立

## 活動報告

### 保健医療アクセス向上プロジェクト

当社は、「世界の医療と人々の健康に貢献する」というミッション実現に向け、Access Accelerated(AA)\*への参画をはじめ、様々なグローバルヘルスの取り組みを行っています。AAの一環として、NGOのAMDA-MINDSと連携し、ミャンマーの医療アクセスが困難な地域において、非感染性疾患(糖尿病、高血圧等)対策のための移動型診療を実施しています。がん領域では「患者中心の質の高いがん医療」の実現に向けて、カンボジアのジャパンハート子ども医療センターと連携してチーム医療を促進し、ミャンマーではCity Cancer Challengeとの協働によって、現地リソースに適した多職種連携のためのガイドラインの開発と普及・定着をサポートしました。

各プロジェクトは住民・行政・地域病院との連携を強化し、持続的な保健医療システムの構築に向けた取り組みになると考えています。今後は他のアジア諸国に広めると同時に、効果や影響度はプロジェクト参画組織・企業間でも共有・議論していく予定です。

※Access Accelerated(AA): 20社を超える日本を含む世界の製薬企業が立ち上げたグローバルイニシアチブ。低中所得国における非感染性疾患に対する予防・診断・治療へのアクセス改善を目的とする。



ミャンマーでのモバイルクリニックの様子

渉外調査部  
原田 亜弥



ミッションに直結する最重要目標(3)、その実現に必要な4目標(8, 9, 12, 17)、事業活動の基盤となる6目標(5, 6, 10, 13, 15, 16)

## 主な臨床開発の状況 (2021年7月26日現在)

開発コード	一般名 (予定)製品名／剤形	予定適応症	ステージ(時期)					
	第Ⅰ相		第Ⅱ相	第Ⅲ相	申 請	承 認	発 売	
がん領域								
RG7596	ポラツズマブ ベドチン ポライビー／注射	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(適応拡大)						
RG7446	アテゾリズマブ テセントリク／注射	非小細胞肺がん(アジュバント)(適応拡大)						
		非小細胞肺がん(ネオアジュバント)(適応拡大)						
		非小細胞肺がん(ステージⅢ)(適応拡大)					(RG6058との併用)	
		尿路上皮がん(適応拡大)						
		筋層浸潤性膀胱がん(アジュバント)(適応拡大)						
		腎細胞がん(アジュバント)(適応拡大)						
		腎細胞がん[二次治療](適応拡大)					(カボザンチニブとの併用)	
		早期乳がん(適応拡大)						
		卵巣がん(適応拡大)					(RG435との併用)	
		肝細胞がん(アジュバント)(適応拡大)					(RG435との併用)	
		肝細胞がん(intermediateステージ)(適応拡大)					(RG435との併用)	
		頭頸部がん(維持療法)(適応拡大)						
		食道がん(適応拡大)					(RG6058との併用)	
		膵臓腺がん(適応拡大)					Morpheus プラットフォーム(RG1569またはRG6058との併用)	
RG435	ペバシズマブ アバスチン／注射	肝細胞がん(アジュバント)(適応拡大)					(RG7446との併用)	
		肝細胞がん(intermediateステージ)(適応拡大)					(RG7446との併用)	
		小細胞肺がん(適応拡大)					(RG7446との併用)	
RG7440	イパタセルチブ塩酸塩 製品名未定／経口	前立腺がん						
RG6264	トラスツズマブ／ペルツズマブ 製品名未定／注射	乳がん(配合剤、皮下注)						
AF802／ RG7853	アレクチニブ塩酸塩 アレセンサ／経口	非小細胞肺がん(アジュバント)(適応拡大)						
RG6058	チラゴルマブ 製品名未定／注射	小細胞肺がん					(RG7446との併用)	
		非小細胞肺がん					(RG7446との併用)	
		非小細胞肺がん(ステージⅢ)					(RG7446との併用)	
		食道がん					(RG7446との併用)	
RG6171	giredestrant 製品名未定／経口	乳がん						
OBP-301	一般名未定 製品名未定／注射	食道がん						
		肝細胞がん					(RG7446及びRG435との併用)	
GC33	codrituzumab 製品名未定／注射	肝細胞がん						
ERY974	一般名未定 製品名未定／注射	固形がん						
RG7421	コビメチニブフマル酸塩 製品名未定／経口	固形がん						
RG7802	cibisatamab 製品名未定／注射	固形がん						
RG7828	mosunetuzumab 製品名未定／注射	血液がん						
RG6026	glofitamab 製品名未定／注射	血液がん						
AMY109	一般名未定 製品名未定／注射	固形がん						
STA551	一般名未定 製品名未定／注射	固形がん						
SPYK04	一般名未定 製品名未定／経口	固形がん						
RG6194	一般名未定 製品名未定／注射	固形がん						
SOF10／ RG6440	一般名未定 製品名未定／注射	固形がん						
RG6396	pralsetinib 製品名未定／経口	固形がん						
骨・関節領域								
NRD101	精製ヒアルロン酸ナトリウム スベニール／注射	変形性膝関節症／肩関節周囲炎				(中国)		
自己免疫疾患領域								
RG7880	efmarodocokin alfa 製品名未定／注射	炎症性腸疾患						

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています。 : 2021年1月以降の進捗

開発コード	一般名 (予定)製品名／剤形	予定適応症	ステージ(時期)					
			第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請	承認	発売
神経疾患領域								
SA237／ RG6168	サトラリズマブ エンズプリング／注射	視神経脊髄炎スペクトラム障害	<div></div> (欧州)					
RG7916	リスジプラム エプリスディ／経口	脊髄性筋萎縮症	<div></div>					
RG1450	ガンテネルマブ 製品名未定／注射	アルツハイマー病	<div></div>					
RG6042	トミネルセン 製品名未定／注射	ハンチントン病	<div></div>					
RG7906	ralmitaront 製品名未定／経口	統合失調症	<div></div>					
RG7935	prasinezumab 製品名未定／注射	パーキンソン病	<div></div>					
GYM329／ RG6237	一般名未定 製品名未定／注射	神経筋疾患	<div></div>					
RG6100	semorinemab 製品名未定／注射	アルツハイマー病	<div></div>					
RG6102	一般名未定 製品名未定／注射	アルツハイマー病	<div></div>					
その他の領域								
RG6413／ RG6412	カシリビマブ／イムデビマブ ロナプリーブ／注射	COVID-19	<div></div>					
RG7716	ファリシマブ 製品名未定／注射	糖尿病黄斑浮腫	<div></div>					
		中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性(nAMD)	<div></div>					
		網膜静脈閉塞症	<div></div>					
MRA／ RG1569	トシリズマブ アクテムラ／注射	COVID-19 肺炎(適応拡大)	<div></div> ※					
ACE910／ RG6013	エミシズマブ ヘムライブラ／注射	後天性血友病A(適応拡大)	<div></div>					
SKY59／ RG6107	クロバリマブ 製品名未定／注射	発作性夜間ヘモグロビン尿症	<div></div>					
RG6422	一般名未定 製品名未定／経口	COVID-19	<div></div>					
NXT007	一般名未定 製品名未定／注射	血友病A	<div></div> (Ⅰ／Ⅱ)					
PCO371	一般名未定 製品名未定／経口	副甲状腺機能低下症	<div></div>					
AMY109	一般名未定 製品名未定／注射	子宮内膜症	<div></div>					
RG7992	一般名未定 製品名未定／注射	非アルコール性脂肪肝炎	<div></div>					

※ ロシュは、海外でアクテムラのCOVID-19肺炎に対する複数の第III相国際共同治験を実施中です。

## 病気を知る

### 視神経脊髄炎スペクトラム障害(NMOSD)

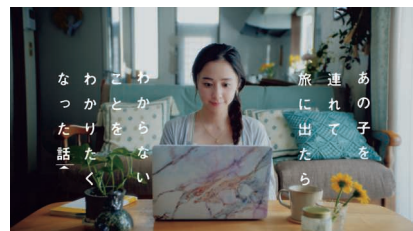
視神経脊髄炎スペクトラム障害(NMOSD)は、主に、脳や脊髄、視神経に炎症が起るのが特徴です。体を外敵から守る免疫の仕組みに異常が起こり、自分自身の脳や脊髄の細胞を攻撃、破壊することで炎症が起こります。人によって、炎症が起こる部位が異なるため症状もさまざまです。視神経に炎症が起こると、急な視力の低下、視野が欠けるなどの症状がみられ、目がかすむ、見えにくくなるといった症状が数時間～数日間で生活に支障をきたすほど進んでしまうこともあります。現在、日本の患者数が約6,700人とされる指定難病<sup>\*</sup>です。

「エンズプリング」は当社独自の抗体改変技術を用いて創製されたリサイクリング抗体で、2018年にはFDAより画期的治療薬(Breakthrough Therapy)に指定されています。NMOSDの主な原因とされるIL-6のシグナル伝達を阻害することで、再発を抑制するようデザインされ、現在日米欧をはじめ54カ国で承認されています。

エンズプリングは、NMOSDに対する4週1回投与による初の皮下注製剤です。成人から小児の幅広い患者さんへ再発抑制と利便性の両面から治療に貢献してまいります。

<sup>\*</sup> 視神経脊髄炎スペクトラム障害は、指定難病の視神経脊髄炎と同義です。

より多くの方々にNMOSDについて理解していただくことが、患者さんのより良い社会生活につながります。そこでこのたび、この病気の特徴や患者さんの状況を知っていただくべく、NMOSDの啓発を目的としたショートフィルムを制作いたしました。ぜひご覧ください。



「あの子を連れて旅に出たら、わからないことをわかった話」(略称「あの旅」)

(視聴無料、再生時間 約25分)

公開場所：  
中外製薬公式YouTubeチャンネル  
([https://youtu.be/j0APE3vcp\\_o](https://youtu.be/j0APE3vcp_o))



出演：堀田真由、須藤理彩、松岡広大  
監督：柳明奈



## 会社の概況／株式の概況 (2021年6月30日現在)

### 会社概要

会社設立	1943年(昭和18年)3月8日
創業	1925年(大正14年)3月10日
資本金	73,201,755,723円
従業員数	7,679名(連結)
本店	東京都北区浮間五丁目5番1号
本社事務所	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

### 役員

#### 取締役

代表取締役会長	小坂 達朗
代表取締役副会長	上野 幹夫
代表取締役社長	奥田 修
社外取締役	奥 正之
社外取締役	一丸 陽一郎
社外取締役	桃井 眞里子

取締役 クリストフ・フランツ

取締役 ウィリアム・エヌ・アンダーソン

取締役 ジェイムス・エイチ・サブリエ

#### 監査役

常勤監査役	佐藤 篤史
常勤監査役	大箸 義章
社外監査役	二村 隆章
社外監査役	前田 裕子
社外監査役	増田 健一

### 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
配当金	期末配当金受領株主確定日 毎年12月31日 中間配当金受領株主確定日 毎年6月30日
公告	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 (連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711(通話料無料) (受付時間 土日祝祭日を除く平日9:00~17:00)
上場証券取引所	東京

### 株式状況

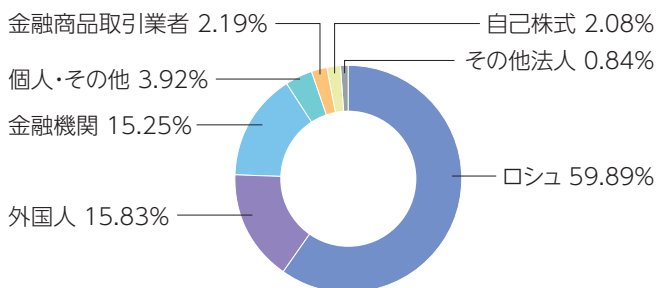
発行可能株式総数	2,399,415,150株
発行済株式の総数	1,679,057,667株 (自己株式34,848,947株含む)
株主数	57,108名

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ROCHE HOLDING LTD	1,005,670	61.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	107,585	6.54
JP MORGAN CHASE BANK 385632	54,014	3.28
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	48,551	2.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	18,696	1.13
SMBC日興証券株式会社	17,744	1.07
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	12,667	0.77
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	12,549	0.76
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	10,845	0.65
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	9,752	0.59

※当社は自己株式34,848千株を保有しておりますが、上記の大株主(上位10名)の中には含めておりません。  
※上記の「持株比率」は、発行済株式の総数から自己株式の数を控除して計算しております。  
※上記の「株主名」は、株式会社証券保管振替機構から通知された「総株主通知」に基づき記載しております。

### 株式分布状況



単元未満株式  
買取・買増  
請求制度の  
ご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位(1単元)となっておりますため、単元未満株式(100株未満)を市場で売買することはできません。このため、当社では「単元未満株式買取・買増制度」をご用意しております。単元未満株式をご所有の株主様は、是非買取・買増制度のご利用についてご検討くださいますようお願い申し上げます。なお、お手続きはお取引先の証券会社または上記三菱UFJ信託銀行連絡先にお申し出ください。

UD FONT  
by MORISAWA

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。



用紙は、FSC®森林認証紙を使用しています。インキはVOC(揮発性有機化合物)が1%未満のノンVOC  
インキを使用しています。印刷は有害物質を含む湿し水を使用しない、水なし印刷を採用しています。



すべての革新は患者さんのために



中外製薬株式会社

Roche ロシュ グループ

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1  
TEL.03(3281)6611 (代表)